

(4) 実践事例

ア 実践事例① A校 第1学年

11月の実践

単元名：小説を読んで、心情を説明しよう～心の機微を日記に書こう～

教材名：少年の日の思い出（東京書籍1年）

単元の目標：①作品中に使われている描写に注目して、作品を読み味わおうとする。

②場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、登場人物の心情理解に役立てることができる。

③視点人物を変えて、心が揺れ動く様子を読み取り、文脈上の意味に注意して、語感を磨くことができる。

指導計画（全8時間）

※本単元で目指した「生徒の望ましい姿」に対する手立て…

次	時間	学 習 活 動	手 立 て
一	1	○学習の見通しをもつ。 ○心情を整理するための語彙マップを作る。	A④ 学習計画を示す C⑥ 心情を表す様々な語彙を整理させ、ファイリングして活用させる。
	2	○「大造じいさんとがん」のリライト活動を行う。	A⑥ モデル提示
二	3	○教材文の範読を聞き、あらすじをつかむ。	
	4	○過去の場面の前半部分から「エーミール」の人物像を捉える。 ○エキスパート活動とジグソー活動に取り組み、読みを深める。	B⑧ 考える時間の確保 B⑫ 自他の考えの共通点や相違点を比較させ、考えを深めさせる。
	5	○過去の場面の後半部分から「エーミール」の人物像を捉える。 ○エキスパート活動とジグソー活動に取り組み、読みを深める。	B⑧ 考える時間の確保 B⑫ 自他の考えの共通点や相違点を比較させ、考えを深めさせる。
	6 本時	○過去の場面の後半部分での「エーミール」の心情と、その心情を説明するキーワードを考える。 ○「エーミール」の心情についての自分の考えを、友達に説明する。 ○友達の説明を聞き、心情を追加したり修正したりする。	A⑥ モデル提示 A⑫ 考えを可視化することができるように、ワークシートを工夫する。 C⑥ 心情を表す様々な語彙を整理させ、ファイリングして活用させる。 B⑧ 考える時間の確保 B⑫ 自他の考えの共通点や相違点を比較させ、考えを深めさせる。
三	7	○「エーミール」の視点で、クジャクヤママユを育てる場面から、「僕」が帰る場面までをリライトする。	C④ 集めた情報の精査
	8	○リライト作品（日記）を読み合い、感想を伝え合う。 ○単元の学習を振り返る。	B⑯ 他者からの評価 C⑫ 振り返り

本時の目標

場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、登場人物の心情理解に役立てることができる。

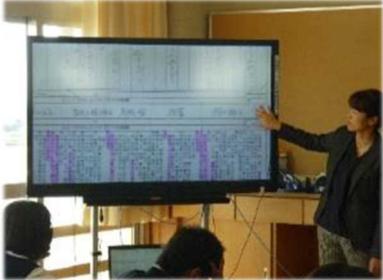
本時の授業の様子

※本単元で目指した「生徒の望ましい姿」に対する手立て…



その他の手立て…



	学習活動	教師の働き掛け (○) と評価 (◆)
<p>導入</p>	<p>1 これまでの学習を振り返る。</p>  <p>2 本時のめあてと学習活動を確認する。</p> 	<p>○前時までの学習内容を想起することができるように、ワークシートを振り返らせた。</p> <p>○第4時、第5時のジグソー法の活動で読み取った「エーミール」の人物像を踏まえて、その心情を捉えていくことを伝えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A⑥ 第2時の「大造じいさんとがん」のリライト活動で提示した教師作成のモデルを再度確認させ、学習活動の見通しをもたせた。</p> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて</p> <p>「エーミール」の視点でリライトするために、人物の心情描写や情景描写を整理し、友達に根拠を説明しよう。</p> </div>	
<p>展開</p>	<p>3 「エーミール」の心情と、その心情を説明するキーワードをワークシートに書く。</p>  <p>「エーミール」の心情と、心情を説明するキーワードを考える様子</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A⑫ 1つのワークシート内に、教材文と考えを書く欄を設け、自分の考えを可視化することができるように工夫した。また、「色分けする」、「線を引く」、「矢印を記入する」といった、考えの整理の仕方を具体的に示した。</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>C⑥ 「エーミール」の心情について、より適切な語彙を選ぶことができるようにするために、第1時に作成した「心情を表す言葉」の語彙マップを参考に促した。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B⑧ 自分の考えとその根拠を明らかにするための時間を確保し、立場を明確にした交流を行うことができるようにした。</p> </div>

	学習活動	教師の働き掛け (○) と評価 (◆)
展開	<p>4 「エーミール」の心情についての考えを伝え合う。</p>  <p>エーミールは、このとき苛立っていたと思います。なぜなら…。</p> <p>5 友達の説明を聞き、ワークシートに追加や修正を行う。</p>  <p>Aさんが言っていた「苛立ち」という言葉を付け加えておこう。</p>	<p>○「エーミール」になりきって心情を書くことができるように、「エーミール」の心情をワークシートに話し言葉で記入させた。</p> <p>◆場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、登場人物の心情理解に役立っている。【読む能力】</p> <p>○時間を決め、順番に考えを伝えさせた。聞いている側が、心情の読み取りの適切さについて考えることができるように、本文のどの描写を基にして心情を読み取ったのか、根拠を明確にして説明するというを確認した。</p> <p>○次時のリライト活動に自信をもって臨むことができるように、他者からのアドバイスをもらう時間を設定した。</p> <p>B¹² 自分の考えを深めることができるように、自他の考えの共通点や相違点を比較した上で、再考させた。そして、友達の説明を踏まえ、自分の考えに言葉を追加したり、語彙を修正したりさせた。</p>
まとめ	<p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習計画表に、本時の学習の振り返りを記述させた。</p> <p>○本時の学習で用いた語彙マップは、自分自身の心情を表す際にも使えることを伝えた。また、人によって、語彙の捉え方に差があることにも触れ、適切な語彙を選択する意識をもつよう促した。</p> <p>○次時の学習内容を確認し、学習活動への展望をもたせた。</p>

授業を振り返って

(成果○ 課題●)

- 「心情を表す語」をマップに整理させたことで、心情の高まりなどを視覚的に整理し、心情の説明に生かすことができた。
- 初めてのリライト活動であったが、セリフや心情をあらかじめ整理し、9つの場面を提示したことで、創意工夫に満ちた作品が出来上がった。
- 生徒の振り返りの記述から、創作文を書くことで、人物の心情を想像する力が身に付いたと感じている生徒が多いことが分かった。
- 9つの場面を入れさせたことで、1000字以上の文章を書くことができた生徒が多く、書くことに自信をもった生徒が増えた。
- 全員の表現をまとめた「表現集」を読ませたことで、「心情」を表す表現の多様さや、描写の効果に気付かせることができた。
- ジグソー法を用いて内容読解に取り組ませたが、最後にもう一度個人で考える時間を設けることができなかった。そのため、自分の意見を他者に説明できるほどの心情理解、人物像理解に至っておらず、対話での考えの深まりが十分ではなかった。
- ジグソー法を用いて読みの交流を行ったが、時間が短かったこともあり、ワークシートを見せて交流し、他者の意見をそのまま受け入れる生徒が多くなってしまった。口頭で説明させ、相手に分かるように伝え合い、理解し合う指導を繰り返し行うことが必要である。
- リライト活動の時間を確保したことで、質のよい作品が出来上がったが、書く活動に個人差があり、時間内に終わらない生徒もいた。その差をどのように埋めていくかが課題である。